

令和3年度

学長特別講演会



山形大学 学長
玉手 英利
Tamate Hidetoshi

人口減少 社会の デザイン

山形大学では、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、国内外の多方面で活躍されている方を講師に迎え、学長主催による特別講演会を開催しています。今回は、京都大学こころの未来研究センター教授の広井良典氏を講師にお迎えして、AIを活用したシミュレーションなども踏まえながら日本社会の未来を様々な角度から考察します。

日時／2021.11.4(木)

16:30～18:00

会場／オンライン開催

(Zoomウェビナー)

- 対象：学生、教職員、一般
- 参加費：無料
- 申込締切：10月28日(木)まで



●お問い合わせ
【山形大学秘書広報室】

Tel／023-628-4008

Mail／yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

●申込方法：申込必須

下記URLもしくは上記QRコードからお申し込みください。
<https://www.yamagata-u.ac.jp/form/r3pr/>

受講申込者には、本講演会参加に必要な情報を開催日前日までにメールでお知らせします。

講師 広井良典氏

●目 本の人口は2008年をピークに減少に転じました。これは明治時代の初め以降100数十年にわたって続いてきた、人口や経済が拡大を続けるのが当然だった時代からの根本的な転換を意味します。それは様々な難題を私たちに突きつけますが、視点を変えてみれば、「**危機をチャンスに**」という表現があるように、**そこには様々なプラスの可能性が宿っているのではないのでしょうか。**日本が世界のフロントランナーとして経験していく「人口減少社会のデザイン」を、AIを活用したシミュレーションなども踏まえながら幅広い角度から考えてみましょう。



広井 良典
Hiroi Yoshinori

●PROFILE／京都大学こころの未来研究センター教授。専攻は公共政策、科学哲学。東京大学・同大学院修士課程修了後、旧厚生省勤務、千葉大学法政経学部教授を経て2016年より現職。この間、2001～02年マサチューセッツ工科大学(MIT)客員研究員。『日本の社会保障』(岩波書店、1999年)でエコノミスト賞、「コミュニティを問いなおす」(筑摩書房、2009年)で大仏次郎論壇賞受賞。主な著書に『ポスト資本主義』(岩波書店、2015年)、『人口減少社会のデザイン』(東洋経済新報社、2019年)など。